

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

# mamori

ま も り

Spring 2010 [vol.006]



高知市鏡吉原「ふれあいの里」へ  
親子で遊ぼう、緑の遊び場

県内7施設、お得なクーポン付  
家族で楽しめる、高知・山の施設

読者とキャッチボール!  
しんりんVOICE

山と高知のちょっといい話  
もりからの伝言板

木の逸品をプレゼント  
森からの贈り物

安芸市の木作家、ギャラリーを紹介  
木のある暮らし

梶原町松原・久保谷セラピーロードを歩く  
緑の中のシエスタ

特集

## 木と子どもたちは、仲よし!

Siesta in the forest.

# 緑の中の シエスタ



### 木々の香りを深呼吸、水と鳥と森のシンフォニー。

梶原町役場から車で約30分。梶原・津野町方面と大正(現四万十町)をつなぐ国道439号を進むと、梶原町松原地区になります。ここには豊かで清らかな久保谷川と、「久保谷セラピーロード」があります。

久保谷セラピーロードのシンボルは、約90年前に水田への水引用につくられた水路。今でも現役で松原地区の水田を潤わしています。この水路に沿って約3kmを歩きますが傾斜がないので、子どもから年輩の方まで安心して歩けます。

久保谷川は魚が泳ぐ姿がはっきり見えるほど透き通った清流で、その川と水路にはさまれて、ロードは続きます。間伐された山に太陽の光が差し込んだ緑の美しさ。じゆうたんのようにふわふわしたゴケが続き、冬でも野鳥の鳴き声はずっと響きます。川の音、四季折々の花、落ち葉クッションの道、ポイントごとにある休憩所。ここには癒しの時間と風景があります。

梶原町役場 環境推進課 ☎ 0889-65-1250



人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。  
**mamori**  
ま も り

高知県森林振興・環境部 林業環境政策課  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
Tel. 088-821-4586 Fax. 088-821-4576  
E-Mail. 030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/

森の文化・自然体験メニュー窓口  
こうち森のささやき  
<http://www.moritomidori.com/sasayaki/>

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守ってという森林保全を目的とする税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担いただいています。

発行日 / 2010年2月 制作・編集 / クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴードesign 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。





一歩足を踏み入れた瞬間、木が持つチカラで子どもたちはひとり残らず笑顔になりました。教室で、ツリーハウスで、学校林で…私たちの「森林環境税」は、木と子どもたちをつなぐ大切な役割を果たし続けます。

# 特集 木と子どもたちは、仲よし！

4年生の笹岡さんは「机や椅子は1年生の時から大事に使っています。初めて見た時は嬉しかった。木の机はあたたかい感じがします」。

6年生の岡本さんは「木の机は使い心地がいいです。机や椅子は大きくなるにつれて調整できるようになっています。調節は1学期に1回、身長が伸びるたびに先生に直してもらいます。卒業するときには家に持って帰れるので、勉強にも使えるしいと思っています」。

榊原小学校は1年生の入学時に県内産ヒノキのヒカヒカの木の机、椅子を用意し、卒業するまでずっと使うことにしています。また卒業後は自宅に持ち帰り、それぞれ家庭で活用しています。机に残るちよっとした傷なども、学校生活の大切な思い出。榊原小学校の子どもたちは、毎日木の香りに包まれて授業を受けていました。こんな素晴らしい取り組みを行っている榊原町教育委員会、榊原小学校にお伺いしました。

**教室に並んだ木の机と椅子を見ると、子どもの笑顔が浮かんできます。**

榊原町は町の森林面積が、総面積の91%。そのうち73%が人工林を占め、県内でもいち早く持続可能な森林経営を証明する、国際森林認証FSCを取得するなど、暮らしと森林・環境を大事にする「生きものに優しい低炭素なまちづくり」宣言をしています。木の机を導入した事業の担当者、榊原町教育委員会生涯学習課の川上博明さんは「子どもたちの入学式の様子や教室に並んだ机を見ると用

意した甲斐があったと思います」と笑顔で話してくれます。

「この事業は十数年前から町内全小学校で始めていますが、数年前から机・椅子ワンセットの費用の1/2を森林環境税の木づかい促進事業で出してもらっているので助かります。本棚をつくるなど別のアイデアも出ていますが、子どもたちの想い出になるし、木の机は大事にしていきたいですね」。

**毎日肌が木にふれることで、温かさを伝えてくれます。**

榊原小学校の二宮弘校長は赴任して2年、このような取り組みの成果として、子どもたちから郷土・榊原への誇り、自然（森林）に対する感謝の気持ちなどが伝わるといいます。

「子どもたちは毎日学校で机を使いますから、6年間新品のままでありません。6年間で傷もつくことがあります。木で出来ている机だからサンドペーパーをかけてニスを塗って、修正も利きます。そして、子どもたちは物を大事に扱うということを自然と身に付けることができます。自分の机や椅子を6年間大切に使うことの効果ですね。また机や椅子に肌が触れることが大事なんです。肘や手が触れると木の温かさが伝わります。それに木は湿気を吸収しますから、雨の日でも教室は快適。夏は涼しく、冬は暖かさが感じられるんですよ」。

保護者の皆さんにも、この取り組みはとても好評で評価が高いと二宮校長。「榊原の人たちは郷土を愛している人が多いし、子どもは地域の宝という意識が強いんです。子どもたちが榊原や高知県に誇りが持てる、その一つとして地場産材の木でつくられた机や椅子があるのはいいことですね」といいます。子どもたちの6年間の成長のそばにある机と椅子。こんなに夢のあることに森林環境税の「木づかい促進事業」が活用されていることが、誇らしいのです。



モノを大切に扱うようになったこと、森林のことを考えるようになったこと、榊原町をこれまで以上に好きになったこと。子どもたちは6年間の間に、木の机と椅子に優しさや感性を教わり、大人へと成長していくのです。

1年生から6年生まで学校の机を一人占め。卒業したら、思い出と一緒に自宅に持ち帰ります。

**榊原小学校と「木づかい」。**



**「木づかい促進事業」**

幼稚園、保育所や学校などが、高知県産の木製の机・椅子や遊具などを購入するときに、森林環境税から購入費の1/2以内の支援を受けることができます。平成22年度からは「木の香るまちづくり推進事業」となる予定です。



榊原町は町中に木を使った建物・施設がたくさんあります。この橋もその代表です。



暮らしと森林・環境を大事にする「生きものに優しい低炭素なまちづくり」をすすめる榊原町役場の建物。



榊原小学校の二宮弘校長。榊原小出身ということで、熱い気持ちで学校運営をしています。



**卒業後の机のゆくえ**  
榊原中学校3年生 徳弘唯さん

小学生の時から使っている机と椅子なので、傷だらけですが愛着があります。お父さんが高さなどの調整をしてくれたので、今も部屋で勉強机として使っています。こうやって町の木が使われるということは、本当に良いことだと思います。



園庭にどっかりと腰をすえたツリーハウスさん、1〜2年かけて園児が遊びこみますからね。

# 東秦泉寺保育園と「ツリーハウス」。

園児たちの生活に欠かせない園庭には、ログハウスやビオトープ、木のブランコやアスレチックなど遊具がいっぱい。そこに新たにツリーハウスが仲間入り。園児たちは目を輝かせて、走る、笑う、登る、の毎日です。



「園庭は子どもたちの生活の場」を信条とする立石由香園長。

園児たちの感謝の気持ちが自然に「ありがとう」をいいました。  
平成21年11月、高知市荊野北町にある「東秦泉寺保育園」のせんだんの木に沿って三階建てのツリーハウスが完成しました。これは保育園が森林環境税の「木づかい促進事業」を活用し、園から依頼を受けて「情報館ネットワーク」のボランティアさんが製作したものです。園長の立石由香さんは、ツリーハウスをつくってくれたボランティアの皆さんの作業する姿を園児たちに毎日見せたといいます。そうすることで、園児たちは感謝の気持ちがいっぱい膨らんで、完成セレモニーの時は皆が自然に「ありがとう」という言葉を出していました。

たちの生活のすべてが園庭にあります。それを充実させていくのが、園長としての私の仕事です。  
また、園のまわりの森林も園児たちの遊び場。地主さんに了解を得て、春にはタケノコ掘り、秋にはシイの実を拾い焼いて食べるなど自然体験もしています。  
新たな遊びの施設としてツリーハウスが園庭に完成しましたが、立石園長は「園児たちが1、2年かけ遊び込んで初めて、こになくはならないもの、になっけていきます。それだけ年数がかかるので、今回の取材は嬉しかったけど、ちょっと早かったんです」と笑顔で話します。  
立石園長をインタビュー中、園児たちはツリーハウスに好奇心いっぱい登っていきます。保育士にサポートしてもらいながら木の階段をあがる園児や、本を持ち込んで3階で読んでいるお兄さん園児。2年後にもう一度、ツリーハウスで遊ぶ子どもたちの姿をのぞいてみたいと思いました。



ツリーハウスでは保育士のサポートのもと安全面に細心の注意を払いながら、木のぬくもりや太陽の光の美しさ、風の心地良さをなどを体験してもらいたいと立石園長はいます。

「園庭は運動会用の広く何もないスペースではなく、園児たちが生活の中で遊び込むための環境のひとつだと思います。まずログハウスを建て、絵本の部屋を作り、縁側で絵本を読めるようにしました。そして山からわき水が出ていて園児たちがよく、びしょびしょになるから、それならと整備して『ジャブジャブ池』をつくり、水の生き物たちと自然のまま接することのできるビオトープを作りました。木のブランコをはじめとする遊具、ゆらゆら橋、アスレチックも揃えました。園児



昭和18年から始まった学校林活動を、今の時代の中学生が体験し、次世代へつなぎます。

# 南国市鳶ヶ池中学校と「学校林」

3年間を通じた森林環境学習を行っている南国市にある鳶ヶ池中学校の生徒たち。そこには「学校林」の存在と保護者やOB、教育委員会のサポートがあり、生徒たちは笑顔と一緒に、成長の芽が伸びはじめています。



清純寮で講演を聞く生徒たち。教室とは違う環境のせいか、生徒たちはいつも以上に熱心な表情になっていました。



今年の1年生は研修日が雨のため清純寮に行けず、予定していた内容を学校の体育館などで行いました。写真はツリークライミングの様子です。

学校林と清純寮の歴史が鳶ヶ池中学校の財産なのです。

皆さんは「学校林」の存在をご存知ですか？ 現在、全国で約3千の小・中・高校で設置（高知県では122校）されていますが、このうち学校林を通じて森林環境学習を実施したり、校舎の新設や改装の時に学校林の木を使うなど、実際に活用している学校は3割程度だといわれています。  
そんな現状のなか、南国市にある鳶ヶ池中学校は、平成19年から学校林を使った素晴らしい環境学習の取り組みを行っています。

鳶ヶ池中学校の学校林は国道32号根曳峠から西へ約1.5km入った一帯に広がる約24ヘクタール。その中には合宿・研修が出来る「清純寮」（南国市森林研究センター）があります。同校は昭和18年（当時は前身の長岡実践女子校）から植林を中心とした学校林活動を継続してきました。現在は南国市教育委員会が管理人を置き、間伐をはじめとする学校林の管理、清純寮の管理に当たってくれています。  
鳶ヶ池中学校の教頭・斧川哲也さんに、学校林を活用した環境学習の具体的な活動を伺いました。

「3年間を通して学校林を使い活動しますが、1年生は森林に親しむこと、2年生は森林を活用すること、3年生で保全・整備をすること。それぞれテーマを決めて学習します。生徒たちは実際に学校林の現地に行き、特に3年生はキャンプを兼ねて宿泊がありますので、日常体験することがない

薪割りや野外での食事づくりなど、自然の中で体験する一つひとつが生徒たちの心に残っていくでしょう。」

校舎を歩き木の節が、たくさん見つければ、学校林を活用した場所なのです。

斧川教頭はこの3年間で生徒たちが、我が校には学校林という財産があり、それは長い歴史の中で受け継がれているという認識ができたこと。もう一つは生徒たちが学校林の現地に立ち、80%以上の森林面積を持つ高知県の環境を大事にする気持ちを養っていること、といえます。

この学習には保護者や同校OBが協力し、事前に林内の歩道の確認、下草刈り、料理の下準備作業や、「学校林活動の歴史」をテーマにした講演など、サポートがあることが、生徒のもう一つの成長のかたきと斧川教頭。「学校の中だけでなく、地域の皆さんを巻き込んで生徒たちに教えてもらおう。それが当たり前になれば、生徒の森林保護に対する意識が育み、成長する可能性が非常に高いと思います。」

鳶ヶ池中学校の校舎を歩くと、改修工事したホールや放送室などの壁面に学校林の木が使われています。節があり、味わいを感じます。それを毎日見る生徒たちは、きっと自分たちが通う学校に愛着を持つでしょう。これも学校林が持つ大きな効果といえます。



親子で歩ける森を身近な遊び場に、川村貞夫さんが吉原の里をご案内。

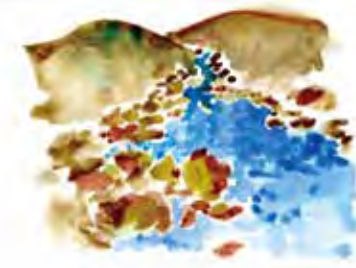
# 吉原の里の遊び場

高知市中心部から車で約40分という近い場所に、美しい川と山が整備された鏡吉原地区「ふれあいの里」があります。ここは子どもと出かけた自然の遊び場なのです。



バンガロー

人気のあるバンガローは定員が4名。寝具などの用意はありませんが、一泊の利用料が5,000円以下と安いのが特徴。キャンプ場もあります。



吉原川

吉原川は近自然工法を使い整備しました。今ではホテル観賞のポイントとして、毎年6月に百日紅で「ホテル祭り」が開催されます。夏は水遊びをする家族連れでにぎわいます。



百日紅

素朴な建物ですがあったかさがあがるのがここ。吉原ふれあい交流館「百日紅」は地元食材を集めた「吉原御膳」(予約制)や、軽食・ドリンクなどがあります。



山の遊歩道

「ふれあいの里づくり」は民間企業も積極的に協力してくれています。四国銀行は「四銀絆の森」としてヒマラヤザクラの植林や交流会を行ったり、三翠園は「ウェディングフォレスト記念植樹」を実施しています。未来の森が楽しみです。



河内神社

映画「はりまや橋」のロケ地になった河内神社や相撲場があり、木々に囲まれ雰囲気のある場所なのです。

## 案内人



川村貞夫さん

鏡吉原地区を元気にする活動を積極的に続けている男性グループ「吉原山吹会」の広報係である川村さん。川をピョンと渡り、山をズカズカ登り、それでも息を切らさず説明してくれるとっても元気な方です。

吉原地区で「ふれあいの里」づくりのきっかけになったのは、昭和50年代の台風で清流・吉原川とその周辺が被害を受けたこと。そこで地元有志や各団体が立ちあがって憩いの場をつくらうと芝桜を植え、遊歩道を整備して、地域づくりの活動をはじめました。それが吉原の中年おんちゃんグループ「山吹会」につながります。

吉原小学校が廃校になり、その敷地が公民館になりました。そこを出発点にして、映画「はりまや橋」のロケ地になった河内神社や、吉原川を渡るふれあいの里としてバンガローやキャンプ施設もあります。6月には吉原川にホタルが乱舞するので「ホタル祭り」を開催しますし、夏になると木陰の「フーメン流し」で大賑わい、子どもたちの声が響きます。山にも散策ができる遊歩道が整備されて、訪れる人も年々多くなっています。吉原ふれあいグループ山吹会の女性版です。が「百日紅」で、地元食材を扱う食事処を運営しています。「高知市民の森」となっている、雪光山(国見山ともいいます)の入り口になる鏡吉原は、幅広い年齢層が楽しめるふれあいの里になっています。ぜひ、一度遊びに来てみませんか。

## 吉原ふれあい交流館「百日紅」

☎ 088-896-2022  
🕒 11:00~15:00  
🗓 月曜・木曜

## ふれあいの里

📍 吉原山吹会・川村  
📍 高知市鏡狩山95  
☎ 090-1003-2473

笑顔とふれあいと癒しを求めて、次の休日に山の施設で遊びませんか。

# 家族で楽しめる高知山の施設

クーポン付き



**モノの庭 マルモツタン**  
印象派の巨匠モノの世界を再現した3つの庭や、ギャラリー、ショップ、レストラン、パン工房、遊びの森など、開園10周年目を迎え充実する「モノの庭」。高知の自然の中で、パレットのような色彩豊かな風景に出会えます。

【特典】一般観覧料700円を630円に割引(10%OFF)

🕒 10:00~17:00  
🕒 700円・小・中学生300円  
🕒 3/1~8/31 無休 9/1~火曜  
🕒 年末年始・冬季メンテナンス休園有  
🕒 安芸郡北川村野友甲1100  
☎ 0887-32-1233  
🌐 http://www.kjmonet.jp/

- 🅐 駐車場
- 🍽 レストラン
- ♿ 身障者用トイレ
- 🔄 授乳・オムツ交換台
- 🚗 車イス貸出
- 🛖 スロープなど、バリアフリー
- 🧸 子供の遊具など
- ♨️ 温泉
- 🌿 農林など、体験メニュー



**山荘 梶ヶ森**  
梶ヶ森の8合目「山荘 梶ヶ森」で大自然を感じませんか。約350種の花が自生し、朝の雲海、一面を霧に覆われた風景、満天の星空など、山の神秘が体験できます。ドライブやトレッキング後はレストランをご利用ください。

【特典】霊水仕立ての珈琲無料サービス

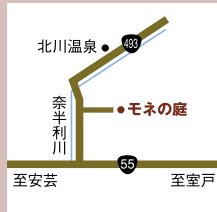
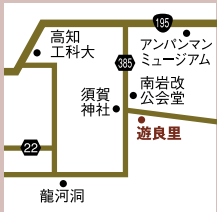
🕒 レストラン 8:30~17:30  
🕒 宿泊 一泊二食付 7,350円・小人6,300円  
🕒 イン16:00 アウト10:00  
🕒 4月~11月 火曜 12月~3月 火・水曜  
🕒 長岡郡大豊町佐賀山1248-3  
☎ 0887-74-0256  
🌐 http://www.kajigamori.com/



**遊良里やまき**  
自然あふれるアンパンマンの町・香北町にある「目組」築百年の農家宿。自家製の米や野菜など旬の食材で、地産地消のもてなしをします。ゆったりと里山の時間を楽しんでください。田舎暮らしの体験メニューもあります。

【特典】2名様以上宿泊の場合、宿泊料10%OFF

🕒 宿泊 一泊二食付 大人7,800円・小学生5,300円(原則1泊1組、歯ブラシ・バジャマ等は持参)  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
※田舎の体験メニューが各種あります。ご相談下さい。  
🕒 香美市香北町岩改1147  
☎ 0887-59-2435  
🌐 http://yurariyamasaki.hp.infoseek.co.jp/



**民宿 山遊亭**  
営林署の事務所跡を部手直して、「目組」の宿にした「山遊亭」は、昭和中期の木造平屋でレトロ感があふります。お風呂は四万十支流の森から湧き出る温泉。冷泉。久保谷セラピィーロードも近く、散策を楽しめます。

【特典】2名様以上宿泊の場合、1名につき宿泊料100円OFF

🕒 宿泊 一泊二食付 大人6,500円・小学生料金あり(原則1泊1組、定員5名、バジャマは持参)  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
※セラピィーロードのガイド等地域の景勝地をご案内できます。ご相談下さい。  
🕒 高岡郡橋原町松原505  
☎ 0889-66-0133  
🌐 http://www.shimanto.or.jp/GT/sanyutei.htm



**ホテル松葉川温泉**  
四万十川支流の緑ゆたかな渓谷に囲まれた名湯の宿「ホテル松葉川温泉」。家族風呂などが増設されるなど、全館リニューアルされます。(3月13日オープン)これまで以上に快適な客室レストラン。温泉が楽しめます。

【特典】入浴料金が100円OFF

🕒 温泉入浴 10:30~21:00  
🕒 レストラン利用 11:00~19:30(O.S)  
🕒 入浴 500円・小人250円  
🕒 宿泊 一泊二食付 9975円~  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
🕒 第3木曜(但し8月は第4木曜)  
🕒 高岡郡四万十町野地605-1  
☎ 0880-23-0611  
🌐 http://www.matsubakawa.jp/  
クーポンのご利用は3月13日からになります



**みのりの舎 筒井**  
県内の著名建築家によって建てられた「みのりの舎」はモダンな造りで、農家民宿というよりデザインされた軒家。部屋も広く、宿泊者に好評です。オーナー夫婦の「田舎暮らしの良さを伝えたい」という気持ちあふれる宿です。

【特典】温泉の入浴料100円OFF

🕒 温泉入浴 11:00~21:00 レストラン利用 11:00~20:00(O.S) ※14:00~15:30はティータイム  
🕒 入浴 大人600円・小人300円(12歳まで、2歳以下無料)  
🕒 毎週木曜日は12歳以下入浴無料 和室 一泊二食付 12,000円~  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
🕒 火曜(祝日の場合は翌日)  
🕒 香川郡仁淀川町名野川258-1  
☎ 0889-36-0680  
🌐 http://www.yunomori.jp/



**中津溪谷 ゆの森**  
平成21年10月にリニューアルオープンし、宿泊専用レストラン・一般レストランの充実など、より快適に利用できるようになった「中津溪谷ゆの森」。美しい自然あふれる中津溪谷を眺めながら温泉につかる日をどうぞ。

【特典】季節の野菜をプレゼント

🕒 宿泊 一泊二食付 7,000円(1日1組定員4名まで)  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
※田舎の体験メニューがあります。ご相談下さい。  
🕒 吾川郡いの町上八川丙415-2  
☎ 088-867-3680  
🌐 http://inogt.jp/nouhaku/minorinoya/



## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

## クーポン券

有効期限 平成22年8月31日  
●クーポン券を切り直し、本誌掲載施設で使いたい各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のクーポン券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて1人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。



Topics 1

県産のヒノキをふんだんに使った  
高知龍馬空港の土産物店。

高知の空の玄関口「高知龍馬空港」(高知空港ビル株式会社)は、全国一の森林率を誇る高知をPRしようと、ターミナルには県産のヒノキが多く使われ、木の香りを漂わせ、利用者がリラックスできる雰囲気をつくりだしています。

そんな中、平成21年12月に森林環境税「木づかい促進事業」を活用し、空港ビル直営の土産物店「ピクサン」が、県産のヒノキをふんだんに使ってリニューアルしました。お土産を買うお客様にも「木の温かさ」や「木の香り」が好評です。高知龍馬空港へお越しの際は、是非ご覧ください。



カウンターや床などを中心に県産のヒノキが使われ、県内外の旅行者にPRしています。

☑️ ピクサン ☑️ 6:10~19:30  
📅 年中無休

Topics 2

森のようちえん  
親子体験inアジロ山に参加。

平成22年2月7日、高知市朝倉乙にあるアジロ山で、「森のようちえん・親子体験inアジロ山」が開催されました。当日は親子14組40名とスタッフなど関係者をあわせ55名ほどが参加しました。

アジロ山は不法投棄などゴミの問題を抱えていたが、「アジロ山の自然と環境を守る会」を中心にした皆さんが2年間整備を続け、自然体験・学習の場所として市民に開放しています。多くの種類の草木、遊歩道、ベンチ、そして標高180mの山頂近くにあるツリーハウスなど、子どもが想像力を働かせ自ら遊べる、自然の遊び場でした。



このイベントは、森林環境税を活用し「高知県体験活動事業」(県教育委員会生涯学習課)のひとつとして行われました。

☑️ 公益社団法人 高知県森と緑の会  
☑️ 高知市本町5丁目1-50 中沢ビル4F  
☎️ 088-855-3905

しんりん  
森林ボイス  
VOICE

mamori 5号に約420通の  
ご意見、ご感想を頂きました。  
その中で森林環境税や本誌について  
県民の皆さんの声としてお届けします。



● 今号の特集を見て森林を大切にしているという人々の力強い努力を初めて知りました。こういう活動をもっと多くの人に紹介したいです。とても共感しました。森林環境税の説明を表紙の方でもっと表面に掲載してほしいのでは?と思います。  
(愛媛県 62歳 女性)

● 毎年夏に山の施設に2泊します。遊具やテレビのない所で遊び場、プラスチックでないおもちゃでの遊びなど、五感で感じる遊びができます。せつかくの山や川をもっとみんなが利用すればいいと思います。  
(安芸市 38歳 女性)

● 山林で生まれ、山林でアルバイトをして育った私ですが、公務員になり、自分の山の手入れができていません。特集「冬場の半年間」しか採採できないことも知りませんでした。副業型林業はいいアイデアです。  
(いの町 50歳 男性)

● 地域ボランティアで活躍されている「あかいこの会」の隅田さんの山や川で遊んだ経験が、今もみんなに伝わっているということが実感できました。とても良かったです。  
(高知市 72歳 女性)

● 香川県は早明浦ダムにたよっていて、より森林を守るためどのような活動ができるのか以前から子どもと一緒によく話していました。森林の間伐などで森林の生態系などにも大切な活動であるというも改めて感じました。多くの高知県以外の人にも知ってもらいたいと思いました。  
(香川県 40歳 女性)

しんりんボイスのご意見に回答します!  
(高知県林業環境政策課)

ご意見1/町中にいると森林の恩恵を忘れてしまいがちですが、少し車を走らせると周囲が木に囲まれていることを知らされる高知県。森林環境税を活用し森を守り続けてほしいと思います。若い人の就職もあればな。

(土佐市 40歳 女性)  
ご意見2/高知の森林環境税の取組をさらに活発化し、森を守る仕事にたずさわる人、特に若い人の募集を多く取り、地球の環境に貢献させてほしい。就職難を大いに活発化する取組を行ってほしい。森をこれからも守りたいと切実に希望します。  
(本山町 44歳 女性)

回答1:2/山村の過疎化や木材価格の低迷などにより、林業にたずさわる労働者は昭和50年と比較して5分の1の1500人程度まで減少しています。新たな林業の担い手を増やすため「緑の雇用」のように、働きながら技術を身につける現場研修制度やその後の技術ヘルプアップをはかる研修など、国や県、森林組合などにおいて様々な取組を行っています。また、U・J・ターナーの就職説明会を県内や大都市で実施するなど、林業就業者の確保育成を行っています。さらに高校生に林業の現場を就職先として検討してもらえよう、森林環境税を活用して、林業の体験授業や林業機械の操作の研修を行っています。

ご意見3/森林環境税を活用する「木づかい促進事業」のことが出ていましたが、スーパーや銀行で木が使われていると、ぬくもりが感じられてとてもいいと思います。たくさんの方が利用できるようにしたいですね。  
(高知市 42歳 女性)

回答3/木材を利用することは、間伐などの山の手入れを積極的に行うことにつながり、結果的には森林が豊かになります。木の良さを県民の皆さまには森林がただのため、企業などの協力を得ながら、木材利用の普及に努めています。今後は、森林環境税で銀行やスーパーなど多くの人が出入りする施設に加えて、木造のバス待合所や木製ガートレールの設置、あるいは遊歩道への木造休憩小屋の設置などにも支援していきたいと考えています。



森林環境税はこうの森をまもることに使われています。

Post Card  
7 8 0 - 8 0 7 1

こちらに  
50円切手を  
貼って  
投函して下さい。

高知県高知市鴨部高町14-6  
「季刊高知」内  
mamori 編集部行

氏名	性別	年齢	歳
住所	男/女		
連絡先 E-mail			
読者プレゼント希望番号	番	裏面の森林環境税に関するアンケートにご記入がない場合は、無効とさせていただきます。	



# 木のある暮らし。

## ギャラリー「遊木民」

※6月下旬にオープンします

〒安芸市本町2丁目12-18  
☎ 0887-35-3712

☎ 日曜・祝日は営業(10:00~18:00)します。  
それ以外は事前にご連絡をお願いします。



6月下旬にオープンするギャラリーもデザインされた空間です。

## 誠実に木と向きあい、 手仕事でつくりあげる 質感のある家具。

木と対話しながら、ひと刻み、ひと刻み、心を込めて、集中しながら手を動かしていく…。安芸市で活動している木作家、小原典子さんの作品は、原木からの製材、形づくりまでは機械を使いますが、その後はすべて手作業です。多くの種類の木彫りノミ、カンナを使い、木の質感、木の良さを引き出す手法で椅子や食器類をつくっています。そこに小原さんの性格や美的なセンス、いわゆる作家性が盛り込まれています。

小原さんは作家活動をはじめた16年。当初は木を使ったアート・オブジェ作品の制作が中心でした。その後独学で5~6年、知識・技術を蓄積し、実用的な椅子や、食卓で使う食器を中心に作りはじめました。「生活の中で長く使えるものに、妥協はできませんよね。誤魔化しがないように、心がけています」といいます。

「机やテーブルなど普通はペーパーで磨いて塗料を塗るのが一般的です。常識外れかもしれませんが、私は可能な限りカンナで仕上げるようにしています。そうすると木の本来の色が出て来ます。手間がとてもかかるところ、うまく削れない部分もありますが、精一杯作業をしています。座った感じ、手に持った感触、光のあたり具合の色彩、そこから手作業の良さがわかってもらえると思います」。

安芸市に工房兼ギャラリーがあり、小原さんの活動場所になっています。6月3日~8日まで高知大丸美術画廊で個展を行い、その個展終了後の下旬に、ギャラリーがオープンします。是非一度、作品を手にとってみませんか。



木彫りの温かさ、質感が伝わってきます。



木彫りノミなど道具は東京の鍛冶屋さん  
に依頼。男性と同じような力がないため、  
楽に削れるよう工夫してもらっています。



私が生きている間は修理に帰ってこないようなものをつくりたい  
んです、と小原さん。

## 森からの贈り物

### 【プレゼント】

本誌のご意見、ご感想をお聞かせ下さい。下記のアンケートにお答えいただいた方に、  
素敵なプレゼントをご用意しました。応募締め切りは3月26日(金) 必着です。

#### ① ウッドキューブ 40ピース(2名様)

子どものために考えられた、愛情いっぱい  
の木積み木「ウッドキューブ」40ピース(推奨年齢1~3才)を  
プレゼントします。素材は高知県産  
のヒノキで、自然木の優しい色合い  
と香り、本物が持つ贅沢な風合い  
を楽しめます。



#### 株式会社 井筒屋

〒高知市朝倉丙2137-2  
☎ 088-844-1891  
http://www.izutsu-ya.com/

#### ② 木でつくった調味料入れ(ペア・3名様)

今号の「木のある暮らし」に登場して頂いた「遊木民」の小原  
典子さんがつくった  
木の調味料入れで  
す。塩やコショウなど  
にお使い下さい。ク  
ワ、ホウ、トチの3種類の木でつくっています。高さは約6cmで、手にフィットし  
ます。(木の種類については編集部で選んでいます)



#### 遊木民

〒安芸市本町2丁目12-18 ☎ 0887-35-3712

#### 応募条件は、アンケートの記入です。

下記の専用ハガキ、または「高知県林業振興・環境部 林業環境政策課」のHP(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>)から必要事項をご記入の上、ご応募下さい。締め切りは3月26日(金) 必着です。抽選の結果につきましては、当選者の方のみ郵送、又はE-mailでご通知いたします。なお当落につきましては電話確認等はご遠慮願います。

#### 個人情報は厳守します。

ご応募頂いた皆様の個人情報は、プレゼント提供会社、高知県林業環境政策課、「季刊高知」編集部が、抽選のために情報を共有することをご了承下さい。今回の応募に関しての個人情報は適切に保管し、第三者への提供・開示は一切行いません。



QRコードから  
携帯サイトへ  
アクセスできます。

#### 前号の読者プレゼント当選者

北川村温泉ゆずの宿ペア無料宿泊券  
高知市 T.Kさん  
オーベルジュ土佐山ペア無料宿泊券  
香川県 T.Sさん



Post Card



## アンケートに ご協力下さい

#### ①これまで「mamori」をご覧になりましたか。

1、読みました 2、読んでいません

#### ②高知県の「森林環境税」を知っていましたか。

1、内容なども良く知っている 2、名前は知っているが内容はあまり知らない  
3、知らない 4、その他( )

#### ③本誌の内容はいかがでしたでしょうか。

1、面白かった 2、普通 3、面白くなかった  
理由( )

#### ④今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(複数可)

1、特集 2、緑の遊び場 3、家族で楽しめる高知・山の施設 4、しんりんVOICE  
5、もりからの伝言板 6、読者プレゼント 7、木のある暮らし 8、緑の中のシエスタ  
9、別のことを取り上げてほしい(例えば )

#### ⑤本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。

1、良く理解できた 2、少しは理解できた 3、よくわからない  
4、その他( )

#### ⑥本誌をどちらで入手しましたか。

1、学校、幼・保育所などの教育機関 2、観光施設や道の駅、直販所など  
3、図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設  
4、スーパーや飲食店、美容院など 5、その他( )

#### ⑦高知県が行っている森林環境税や本誌について、 ご感想やご意見ををお願いします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

\*アンケートへのご協力、有難うございました。